



学校教育目標

『よりよく生きる』

令和4年度

各教科の学習予定一覧及び、 各教科の評価・評定の出し方

- 1 国 語
 - 2 社 会
 - 3 数 学
 - 4 理 科
 - 5 音 楽
 - 6 美 術
 - 7 保健体育
 - 8 技術・家庭
 - 9 外国語(英語)
- 特別の教科 道徳

※「特別の教科 道徳」では、数値による評価は行わず、3学期の通知表に1年間の成長や伸びについての記述を記載します。

吉川市立南中学校

国語科の評価・評定の出し方

1 観点別評価 A・B・C の規準（およその目安）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
評 価 規 準	・ことばの決まり を理解し、漢字や語 句などを正しく使 うことができる。	・言葉を通じて積極的に人と関わった り、学習の見通しをもって思いや考えを 確かなものにしたりしながら、言葉を適 切に使おうとしている。 ・相手や目的に応じ、自分の考えを筋道 を立てて文章に書くことができる。 ・文章を読んで、その内容を理解するこ とができる。	・言葉を通じて積極 的に人と関わった り、学習の見通しを もって思いや考え確 かなものにしたりし ながら、言葉を適切 に使おうとしてい る。
A	80%以上満足で きる	80%以上満足できる	80%以上満足でき る
B	79%～50%満 足できる	79%～50%満足できる	79%～50%満足 できる
C	50%に満たない	50%に満たない	50%に満たない
主な評価 方 法	テスト（定期・ 漢字・文法）硬 筆・書き初め など	発表 スピーチ（話し合い活動） 聞き取りテスト ディベート 作文 ノートやプリントに書いた文章 定期テスト 単元テストなど	授業態度・挙手ノー ト・ワークなどの提 出状況 宿題 忘れ物など

2 観点別評価の比重（およその目安）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
比 重 (およその目安)	1	1	1

3 観点別評価（A・B・C）と評定（5・4・3・2・1）との関係

観点1	A	A	A	A	A	B	B	A	B	C
観点2	A	A	A	B	B	B	B	C	C	C
観点3	A	B	C	B	C	B	C	C	C	C
5段階評定	5	4	3	3	3	3	3	3 または 2	2	2 または 1
評価が 分かれる所										

社会科の評価・評定の出し方

1 観点別評価 A・B・C の規準（およその目安）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
評 価 規 準	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料からさまざまな情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連性を多面的・多角的に考察したり、課題の解決に向けて選択・思考・判断したことを説明したり、議論したりしている。	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
A	十分満足できる	十分満足できる	十分満足できる
B	おおむね満足できる	おおむね満足できる	おおむね満足できる
C	努力を要する	努力を要する	努力を要する
主な評価 方 法	授業中の発言 定期テスト ノートやプリント等への書き込み など	授業中の発言 定期テスト ノートやプリント等への書き込み など	授業中の発言 ノートやプリント等への書き込み など

2 観点別評価の比重（およその目安）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
比 重 (およその目安)	1 : 1 : 1		

3 観点別評価（A・B・C）と評定（5・4・3・2・1）との関係

観点1	A	A	A	A	A	B	B	A	B	C
観点2	A	A	A	B	B	B	B	C	C	C
観点3	A	B	C	B	C	B	C	C	C	C
5段階評定	5	4	4 または 3	4 または 3	3	3	3 または 2	3 または 2	2	2 または 1
評価が 分かれる所			○	○			○	○		○

数学科の評価・評定の出し方

1 観点別評価 A・B・C の規準（およその目安）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
評 価 規 準	色々な量や数量関係・図形の性質などを理解し、数式・文字式・数学記号を用いて的確に表現し、正確に効率よく処理できる。	演繹的手法や帰納的手法で、論理的に思考し、数量や図形の知識を総合的に活用し、問題解決ができる。または、より良い方策を模索することができる。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとすることができる。
A	十分満足できる	十分満足できる	十分満足できる
B	おおむね満足できる	おおむね満足できる	おおむね満足できる
C	努力を要する	努力を要する	努力を要する
主な評価 方 法	諸テスト 授業での発表内容や巡視観察 宿題・提出物の観察	諸テスト 授業での発表内容や巡視観察 宿題・提出物の観察	授業態度・発表の観察 宿題・提出物や忘れ物の状況 諸テスト

2 観点別評価の比重（およその目安）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
比 重 (およその目安)	1	1	1

3 観点別評価（A・B・C）と評定（5・4・3・2・1）との関係

観点1	A	A	A	A	A	B	B	A	B	C
観点2	A	A	A	B	B	B	B	C	C	C
観点3	A	B	C	B	C	B	C	C	C	C
5段階評定	5	4	4 または 3	4 または 3	3	3	3 または 2	3 または 2	2	2 または 1
評価が 分かれる所			○	○			○	○		○

理科の評価・評定の出し方

1 観点別評価 A・B・C の規準（およその目安）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
評 価 規 準	安全な観察・実験を行い、結果を的確に表現できる。 自然事象についての知識を持ち、理解できる。	自然事象について、理論的・実証的・数量的に考え、文章や口頭で表現できる。	自然事象に進んでかかわり、主体的に探究しようとしている。
A	十分満足できる	十分満足できる	十分満足できる
B	おおむね満足できる	おおむね満足できる	おおむね満足できる
C	努力を要する	努力を要する	努力を要する
主な評価 方 法	定期テスト 単元（小）テスト パフォーマンステスト レポート	定期テスト レポート プレゼンテーション	授業態度 提出物の状況（ノート レポートなど）

2 観点別評価の比重（およその目安）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
比 重 (およその目安)	1	1	1

3 観点別評価（A・B・C）と評定（5・4・3・2・1）との関係

観点1	A	A	A	A	A	B	B	A	B	C
観点2	A	A	A	B	B	B	B	C	C	C
観点3	A	B	C	B	C	B	C	C	C	C
5段階評定	5 または 4	4	4 または 3	4 または 3	3	3	2 または 3	2 または 3	2	1 または 2
評価が 分かれる所	○		○	○			○	○		○

音楽科の評価・評定の出し方

1 観点別評価 A・B・C の規準（およその目安）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
評 価 規 準	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じたこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
A	十分満足できる	十分満足できる	十分満足できる
B	おおむね満足できる	おおむね満足できる	おおむね満足できる
C	努力を要する	努力を要する	努力を要する
主な評価 方 法	実技テスト 授業内の演奏活動 期末テスト	実技テスト 期末テスト ワークシート	授業態度 ワークシート

2 観点別評価の比重（およその目安）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
比 重 (およその目安)	1	1	1

3 観点別評価（A・B・C）と評定（5・4・3・2・1）との関係

観点1	A	A	A	A	A	B	B	A	B	C
観点2	A	A	A	B	B	B	B	C	C	C
観点3	A	B	C	B	C	B	C	C	C	C
5段階評定	5	4	4 または 3	4 または 3	3	3	3 または 2	3 または 2	2	2 または 1
評価が 分かれる所			○	○			○	○		○

美術科の評価・評定の出し方

1 観点別評価 A・B・C の規準（およその目安）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
評 価 規 準	様々な工夫を重ね、創造的に美しく表現することができる	自由に発想し、イメージを広げて構想を練ることができる	美術について深く関心を持ち、良さを味わい、熱心に制作に取り組むことができる
A	十分満足できる	十分満足できる	十分満足できる
B	おおむね満足できる	おおむね満足できる	おおむね満足できる
C	努力を要する	努力を要する	努力を要する
主な評価 方 法	・画材や素材による表現力 ・作品の描きこみ ・バランスの良さ、完成度 ・魅力 など	・個性的なアイデア ・発想力、想像力 ・構想、構成 など	・授業への取り組み ・自己評価シート ・鑑賞会への取り組み など

2 観点別評価の比重（およその目安）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
比 重 (およその目安)	1	1	1

3 観点別評価（A・B・C）と評定（5・4・3・2・1）との関係

観点1	A	A	A	A	A	B	B	A	B	C
観点2	A	A	A	B	B	B	B	C	C	C
観点3	A	B	C	B	C	B	C	C	C	C
5段階評定	5	4	4 または 3	4 または 3	3	3	3 または 2	3 または 2	2	2 または 1
評価が 分かれる所			○	○			○	○		○

保健体育科の評価・評定の出し方

1 観点別評価 A・B・C の規準（およその目安）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
評 価 規 準	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や、生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。 また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。 また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
A	十分満足できる	十分満足できる	十分満足できる
B	おおむね満足できる	おおむね満足できる	おおむね満足できる
C	努力を要する	努力を要する	努力を要する
主な評価 方 法	【単元の評価基準】に沿って ・学期末定期試験 ・各単元内での技能試験（保健実習含む） ・出席している各授業内での活動（観察）	【単元の評価基準】に沿って ・学習カードへの記述 ・ワークシートへの記述 ・出席している授業内における発問への解答（保健含む）	【単元の評価基準】に沿って出席している授業において、主に観察・発言・発表・態度・協力・共生・取り組みで評価をする。

※保健体育は、単元の評価基準にそって評価をおこなう※ 例【器械運動】【陸上競技】等

2 観点別評価の比重（およその目安）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
比 重 (およその目安)	1	1	1

3 観点別評価（A・B・C）と評定（5・4・3・2・1）との関係

観点1	A	A	A	A	A	B	B	A	B	C
観点2	A	A	A	B	B	B	B	C	C	C
観点3	A	B	C	B	C	B	C	C	C	C
5段階評定	5	5 または 4	4 または 3	3	3	3	3 または 2	2	2	1
評価が 分かれる所		○	○				○			

技術・家庭科の評価・評定の出し方

1 観点別評価 A・B・C の規準（およその目安）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
評 価 規 準	・生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
A	十分満足できる	十分満足できる	十分満足できる
B	おおむね満足できる	おおむね満足できる	おおむね満足できる
C	努力を要する	努力を要する	努力を要する
主な評価 方 法	・記述内容(ワークシート・レポート) ・ペーパーテスト(定期テスト・小テストなど) ・製作品 ・製作・実装・作業の様子 (観察・実技テスト) ・設計図・製作図 ・ポートフォリオ(計画表・記録カードなど)		

2 観点別評価の比重（およその目安）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
比 重 (およその目安)	1	1	1

3 観点別評価（A・B・C）と評定（5・4・3・2・1）との関係

観点1	A	A	A	A	A	B	B	A	B	C
観点2	A	A	A	B	B	B	B	C	C	C
観点3	A	B	C	B	C	B	C	C	C	C
5段階評定	5	4	4 または 3	3	3	3	3	3 または 2	2	1
評価が 分かれる所			○					○		

英語科の評価・評定の出し方

1 観点別評価 A・B・C の規準（およその目安）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
評 価 規 準	英語の特徴や決まりに、実際に英語の事項を理解し、実際にコミュニケーションに活用すること、社会的な話題について、読むこと、書くこと、話すこと、聴くことの技術を身に付けている。	コミュニケーションを行う場面、状況などに応じて、日常的な話題について、必要な情報や概要、要点などを聞き取ったり捉えたりしている。また、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文法を用いて伝えたりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相対的に英語で聞いたり、読んだり、話したり、書いたりしようとしている。
A	十分満足できる	十分満足できる	十分満足できる
B	おおむね満足できる	おおむね満足できる	おおむね満足できる
C	努力を要する	努力を要する	努力を要する
主な評価 方 法	単語テスト、英作文、会話テスト、リスニングテスト、定期テストなど	英作文、会話テスト、リスニングテスト、定期テストなど	授業態度、ノート等の取り組みや提出状況、英作文、コミュニケーション活動への取り組み態度など

2 観点別評価の比重（およその目安）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
比 重 (およその目安)	1	1	1

3 観点別評価（A・B・C）と評定（5・4・3・2・1）との関係

観点1	A	A	A	A	A	B	B	A	B	C
観点2	A	A	A	B	B	B	B	C	C	C
観点3	A	B	C	B	C	B	C	C	C	C
5段階評定	5	4	4 または 3	3	3	3	3	3	2	2 または 1
評価が 分かれる所			○							○

令和4年度 1学年 各教科学習予定一覧 吉川市立南中学校

月	1 国 語	2 社 会	3 数 学	4 理 科	5 音 楽
4	『朝のリレー』『野原はうたう』 『シンシユン』 「硬筆」	地理 世界の姿	整数の性質 正負の数	植物	「校歌」 鑑賞「浜辺の歌」
5	『ダイコンは大きな根?』 『ちよっと立ち止まって』『文法・漢字』	世界各地の人々の生活と環境	文字と式		演奏・創作「CUPS」
6	「情報を整理して書こう」「語の構成を工夫しよう」	歴史	方程式	物質の性質	鑑賞「春」
7	「詩の世界」	歴史の流れをとらえよう			
9	「比喩で広がる言葉の世界」 指示する語句と接続する語句 読書を楽しむ 『大人になれなかった弟たちに……』	古代までの日本 身近な地域の歴史			演奏「アルトリコーダー」
10	『星の花が降るころに』	地理		地震・火山・地層	
11	『聞き上手になろう』『項目を立てて書こう』 『「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ』	世界の諸地域	比例と反比例		鑑賞「魔王」
12	「漢字の音訓」「方言と共通語」 音読をしよう」「いろは歌」「百鬼の世界」「漢字の玉の粒」「竹取物語」から	アジア州 ヨーロッパ州			演奏「箏」
1	『今に生きる言葉』(漢文) 「毛筆」「漢字・文法」	アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州	平面図形	光・音の性質、力のはたらき	演奏「アルトリコーダー」
2	『「不便」の価値を見つめ直す』 『「断言を自分の文章に生かそう」「考える人になろう」』 『少年の日の思い出』	オセアニア州	空間図形		演奏「合唱」
3	「随筆二編」 「構成や描写を工夫して書こう」 「一年の学びを振り返ろう」 『さくらの はなびら』	歴史 中世の日本	資料の分析と活用		鑑賞「赤とんぼ」

令和4年度 1学年 各教科学習予定一覧 吉川市立南中学校

月	6 美術	7 保健体育	8 技術・家庭		9 外国語(英語)
			技術分野(前期履修)	家庭分野(後期履修)	
4	色の基礎	体づくり運動	オリエンテーション		Let's Be Friends! 身の回りの英語
5	平面作品「レタリング」	陸上競技Ⅰ(短距離走・リレー)	ガイダンス		Unit 1 一人称(be動詞、一般動詞、can)
6		新体カテスト	生物育成		Unit 2 二人称(Are / Do / Can you ?)
7	立体作品「割れた果物、野菜」	体育理論①(水泳講義)	ものづくりの視点と進め方		Unit 3 What do you ? 動名詞、不定詞
9		器械運動(マット・跳び箱)	材質の特徴		Unit 4 三人称(be動詞)
10	平面作品「遠近法」	保健①	設計		Unit 5 疑問詞(Where, When, Whose)
11		保健②	○機能と構造		Unit 6 三人称単数現在形
12		陸上競技Ⅱ(長距離走)	○加工と接合構造		Unit 7 一般動詞の過去形
1		保健③	ファイルボックス(実習)		be動詞の過去形(was, were)
2		球技Ⅰ(ハンドボール・バスケットボール)	木材による製作		Unit 8 現在進行形
3		武道(相撲)	材料と加工に関する技術の評価		Let's Read2 既習の表現
		ダンス		「家庭分野のガイダンス」 ○自立と共生を目指す 「わたしたちの衣生活」 ○衣服の選択と手入れ ○生活を豊かにするために (布を用いた製作実習)	
		保健④		「わたしたちの住生活」 ○住まいの役割と安全な住まい方 「生活の課題と実践」	
		体づくり運動			
		体育理論			
		球技Ⅱ(ソフトボール・バレー)			

道徳(特別の教科 道徳)については、各学級の実態に合わせて、時期に応じた題材を使って学習します。

令和4年度 2学年 各教科学習予定一覧 吉川市立南中学校

月	1 国 語	2 社 会	3 数 学	4 理 科	5 音 楽
4	「熟語の構成」・「要点を整理して聞き取る」 『見えないだけ』(詩)	中世の日本	式の計算	原子と分子	鑑賞「映画音楽」
5	『アイスブラネット』(小説) 『枕草子』(古文)	地理 第2章 世界と比べた日本の地域的特色	連立方程式		演奏・創作「CUPS」
6	『クマゼミ増加の原因を探る』(報告文) 『短歌に親しむ』(短歌・解説文)	第3章日本の諸地域		動物の世界	演奏「指揮」
7	『短歌を味わう』(短歌)	1九州地方 2中国四国地方 3近畿地方	1次関数		
9	「類義語・対義語・多義語」 文法・敬語・漢字	地理 第3章日本の諸地域		電流とそのはたらき	演奏「ギター・アルトリコーダー」
10	『盆土産』(物語) 『字のない葉書』(随筆)	4中部地方 5関東地方 6東北地方			
11	「同じ音・同じ訓をもつ漢字」 『モアイは語る』(論説)	7北海道地方 歴史	平行と合同	天気の変化	鑑賞「交響曲第5番ハ短調」
12	『平家物語』(古文) 『徒然草』(古文)	第4章近世の日本			演奏「箏」
1	『漢詩の風景』(漢詩・解説文)	13-DyP 人との出会いと全国統一	三角形と四角形		鑑賞「歌劇カルメン」
2	文法・書きぞめ・漢字 『君は「最後の晩餐」を知っているか』(評論文)	2江戸幕府の成立と鎖国 3産業の発達と幕府政治の動き			演奏「合唱」
3	『走れメロス』(小説) 「送り仮名」 「魅力的な提案をしよう」 手紙の書き方・著作権 文法・漢字	第5章開国と近代日本の歩み 1欧米の進出と日本の開国 2明治維新	確率 データの比較		演奏「アルトリコーダー」

令和4年度 2学年 各教科学習予定一覧 吉川市立南中学校

月	6 美術	7 保健体育	8 技術・家庭		9 外国語(英語)
			技術分野(後期履修)	家庭分野(前期履修)	
4	平面作品「小人の世界」	体づくり運動		「食生活と自立」	Unit1 過去形、過去進行形、接続詞when
5		陸上競技Ⅰ(短距離走・リレー)		○健康と食生活	Unit2 動名詞、不定詞、接続詞that
6		新体カテスト		○食品の選択と保存	
	立体作品「バターナイフ」	体育理論①(水泳講義)		○調理をしよう	Unit3 未来形、接続詞if
7		器械運動(マット・跳び箱)		○地域の食材と食文化	Let's Read1 既習の表現
		保健①			
9		保健②		「身近な消費生活と環境」	Unit4 There is /are～.、show人物
	平面作品「自分の国旗」	陸上競技Ⅱ(長距離走)		○家庭生活と消費	不定詞
10		保健③		○商品の選択と購入	Unit5 助動詞(have to, must, should)
11		球技Ⅰ(サッカー・バドミントン)	オリエンテーション	○よりよい消費生活のために	Unit6 不定詞、接続詞because
		武道(相撲)	生活とエネルギー変換	○環境に配慮した消費生活	Let's Read2 既習の表現
12		ダンス	電気エネルギーの利用		
			○熱・光・動力への変換と利用		
1			エネルギー変換の実際		Unit7 比較級、最上級、as～as
			○電気回路		Unit8 受動態、make A B、want A to
2		保健④	○機器の安全な利用と保守点検		Let's Read3 既習表現
		体づくり運動	設計・製作		
		体育理論	LEDランプづくり		
3		球技Ⅱ(バスケットボール・ソフトボール)	エネルギー変換に関する技術の評価		
			○情報通信ネットワークの利用		
			Wordの操作		
			情報を扱う機器の構成		

道徳(特別の教科 道徳)については、各学級の実態に合わせて、時期に応じた題材を使って学習します。

令和4年度 3学年 各教科学習予定一覧 吉川市立南中学校

月	1 国 語	2 社 会	3 数 学	4 理 科	5 音 楽
4	「世界はうつく」と 「握手」「多角的に分析して書こう」 「学びて時に之を習ふ―『論語』から」 硬筆	近代日本の歩み（歴） 二度の世界大戦（歴）	多項式	運動とエネルギー	鑑賞「ブルタバ」
5	「俳句の可能性」「俳句を味わう」 「俳句を作って楽しもう」	現代の日本と世界（歴）	平方根	生物と環境	演奏・創作「CUPS」
6	「読得力のある構成を考えよう」「論理の展開を整える」 「作られた『物語』を超えて」	現代社会と私たちの生活（公）	2次方程式	化学変化とイオン	鑑賞「花」「荒城の月」
9	熟語の読み方・和語・漢語・外来語・漢字の造語力 挨拶・原爆の写真に寄せて	個人の尊重と日本国憲法（公）			演奏「ギター・アルトリコーダー」
10	「君待つと一万葉・古今・新古今」 「夏草―『おくのほそ道』から」	現代の民主政治と社会（公）	関数 $y=ax^2$	地球と宇宙	鑑賞「世界の諸民族の音楽」
11	「古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう」 「報道文を比較して読もう」	私たちの暮らしと経済（公）	相似な図形	自然・科学技術と人間	演奏・鑑賞「六段の調」
12	「評価しながら聞く」「聞き手・上手になろう」 文法復習・慣用句・諺・故事成語 「故郷」・毛筆	地球社会と私たち（公） より良い社会を目指して（公）	円 三平方の定理 標本調査 問題演習		鑑賞「ポピュラー音楽」 演奏「合唱」
1	「話し合いを効果的に進める」「合憲性に向けて話し合おう」 「4年間の歩みを振り返ろう」「文章の種類を選んで書こう」				
2	「人工知能との未来」「人間と人工知能と創造性」 「情報を読み取って文章を書こう」				
3	受験対策 ※「漢字・古語」は通年				

令和4年度 3学年 各教科学習予定一覧 吉川市立南中学校

月	6 美術	7 保健体育	8 技術・家庭		9 外国語(英語)
			技術分野	家庭分野	
4	平面作品「心の旅〇〇駅」	体づくり運動 陸上競技Ⅰ(短距離走・リレー) 新体カテスト	オリエンテーション 情報を扱う機器の構成 情報通信ネットワークの構成 情報通信を伝えるしくみ インターネットの利用	「身近な消費生活と環境」 ○家庭生活と消費 ○商品の選択と購入 ○よりよい消費生活のために ○環境に配慮した消費生活	unit1 相づち、説明 unit2 現在完了形<完了><経緯> unit3 現在完了形<継続> 現在完了進行形
5	立体作品「篆刻」	器械運動(マット・跳び箱)選択 保健①			
6					
7				「家族・家庭と子どもの成長」 ○ 私たちと家族・家庭と地域	
9	平面作品「自分の夢」	保健② 陸上競技Ⅱ(長距離走)	情報とネットワーク 情報セキュリティ 情報モラル	○ 幼児の生活と遊び	unit4 関係代名詞<主格>
10		保健③ 球技Ⅰ(サッカー・バドミントン)選択		○ 幼児とのふれ合い	
11			コンピューターと情報処理		unit5 関係代名詞<目的格>
12		武道(相撲) ダンス	プログラムによる計測・制御		unit6 後置修飾 現在・過去分詞
1		保健④ 体づくり運動	情報処理の手順とプログラム プログラムによる制御		unit7 what to expect～ If I could～、I would～、 unit8 I wish you weren't～、
2		体育理論		○ これからのわたしと家族	
3		球技Ⅱ(バスケットボール・ソフトボール)選択	情報に関する技術の評価		

道徳(特別の教科 道徳)については、各学級の実態に合わせて、時期に応じた題材を使って学習します。